



## 平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 サントリー食品インターナショナル株式会社  
 コード番号 2587 URL <http://www.suntory.co.jp/sbf/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鳥井 信宏  
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 市本 徹雄  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	940,686	12.4	64,818	24.1	62,380	28.6	30,837	25.8
25年12月期第3四半期	837,157	12.0	52,210	20.0	48,493	20.3	24,516	57.0

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 34,557百万円 (△46.9%) 25年12月期第3四半期 65,073百万円 (227.0%)

(参考) EBITDA 26年12月期第3四半期 1,206億円 (19.4%) 25年12月期第3四半期 1,010億円 (18.4%)

指標の定義、計算方法等の詳細は「セグメント情報等」9ページをご覧ください。

のれん償却前四半期純利益 26年12月期第3四半期 496億円 (18.8%)

25年12月期第3四半期 417億円 (36.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	99.80	—
25年12月期第3四半期	99.26	—

(注) 当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しています。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,360,205	599,319	41.3
25年12月期	1,256,701	592,968	44.4

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 561,848百万円 25年12月期 558,200百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	58.00	58.00
26年12月期	—	29.00	—	—	—
26年12月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2. 平成25年12月期末配当金： 上場記念特別配当5円00銭を含みます。

### 3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前年増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,260,000	12.4	85,000	16.9	81,000	20.4	35,000	12.2	113.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

(参考) EBITDA 26年12月期通期（予想） 1,600億円 (14.6%)

のれん償却前当期純利益 26年12月期通期（予想） 595億円 (9.4%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2014年12月期 3 Q	309,000,000株	2013年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2014年12月期 3 Q	ー株	2013年12月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2014年12月期 3 Q	309,000,000株	2013年12月期 3 Q	247,000,000株

（注）当社は、平成25年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しています。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2014年1月1日～9月30日)の世界経済は、先進国を中心に、全体として緩やかに回復しました。わが国経済についても、一部に弱さが見られるものの、緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループはブランド強化により需要を喚起し、国内・国際事業両輪で更なる成長を図りました。また、各社の知見を活かしたグループ全体での品質の向上や、コスト革新による収益力強化にも取り組みました。

国内セグメントでは、4月の消費税率引き上げや夏場の天候不順に伴う売上への影響もありましたが、重点ブランドの強化やコスト削減、効率的なマーケティング費用の投入等、更なる利益成長に向けて一層強固な事業構造への変革を進めました。また、付加価値の高い特定保健用食品や、フレーバーウォーターの新商品を市場に投入し、新たな需要を喚起しました。

国際セグメントでは、各エリアにおける重点ブランドの更なる強化やコスト削減等を実施しました。欧州では、オレンジナ・シュウェップス・グループと、1月に発足したLucozade Ribena Suntory Limitedにおけるシナジーを創出するため、より効率的な事業基盤の構築に取り組みました。また、アジアにおいては、商品開発機能やマーケティング機能、生産体制の強化に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,407億円(前年同期比12.4%増)、営業利益は648億円(前年同期比24.1%増)、経常利益は624億円(前年同期比28.6%増)、四半期純利益は308億円(前年同期比25.8%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### [国内セグメント]

「サントリー天然水」は、「清冽でおいしい水」「ナチュラル&ヘルシー」をブランド独自の価値として訴求しました。「サントリー 南アルプスの天然水 スパークリング」「同 レモン」「サントリー 南アルプスの天然水&朝摘みオレンジ」が好調に推移し、ブランド全体の販売数量は前年同期を大幅に上回りました。

「BOSS」は、主力商品(「レインボーマウンテンブレンド」「贅沢微糖」「無糖ブラック」「カフェオレ」等)が牽引し、ブランド全体の販売数量が大きく伸長しました。また、当社の技術力を活かし新製法を採用した「プレミアムボス」も9月の発売以降好調に推移しています。

「伊右衛門」は、特定保健用食品「特茶」が昨年10月の発売から累計で1,000万ケースを超える等引き続き好調に推移し、ブランド全体の販売数量は着実に伸長しました。

「PEPSI」は、3月に中味・パッケージをリニューアルした「ペプシネックス ゼロ」で話題性ある広告宣伝活動を展開し、販売数量はほぼ前年並みとなりました。

「サントリー ウーロン茶」は、継続してマーケティング活動に注力しましたが、販売数量は前年同期を下回りました。

「GREEN DA・KA・RA」は、冬の乾燥や夏の熱中症対策の水分補給飲料として認知度が更に高まりました。

「GREEN DA・KA・RA やさしい麦茶」も好調に推移し、ブランド全体の販売数量は前年同期を大幅に上回りました。果汁入り炭酸飲料「オレンジナ」は、お客様の多様なニーズにお応えして1.2Lペットボトルを発売したこと等により、販売数量を着実に伸ばしました。

健康志向の高まりを背景に注目を集める特定保健用食品は、当社が市場拡大を牽引し、確固たる地位を築いています。「伊右衛門 特茶」に、「ボス グリーン」「サントリー 黒烏龍茶」「サントリー 胡麻麦茶」「ペプシ スペシャル」を加えた特定保健用食品合計の販売数量は、前年同期を大幅に上回りました。

収益性向上に向けた取組みでは、500mlペットボトルや特定保健用食品の販売強化による商品構成の改善に加え、ペットボトルや包装用段ボールの更なる軽量化等、生産におけるコスト革新を引き続き行いました。

これらの結果、国内セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国内セグメント売上高	5,472億円(前年同期比1.0%増)
国内セグメント利益	354億円(前年同期比9.3%増)

〔国際セグメント〕

欧州では、フランスやスペインにおいて「Orangina」「Schweppes」、英国において「Lucozade」「Ribena」等の主力ブランドに集中したマーケティング活動を実施しました。またスペインで業務用の営業体制を強化したほか、欧州全体での成長に向けて、生産や販売をはじめとする経営基盤の最適化やシナジーの創出に取り組みました。その一環として、英国において従来委託販売されていた「Orangina」、エナジードリンク「V」について7月以降順次、Lucozade Ribena Suntory Limited による販売に切り替えました。

オセアニアでは、フルコア・グループが主力ブランド「V」の活性化に取り組んだほか、7月には「Lucozade」「Ribena」の販売を開始、9月には初のサントリーブランド商品となる「OVI<sup>オヴィ</sup>」を発売する等、商品ラインナップを拡充しました。更に、商品開発力を一層強化することを目指し、ニュージーランドの研究開発機能を増強しました。

アジアでは、各国において事業基盤の強化や、新商品の投入等による事業拡大に積極的に取り組みました。タイでは不安定な経済環境による影響が続いていますが、インドネシアの「MYTEA[ウーロン茶]」とベトナムの「TEA+[ウーロン茶]」が大きく伸長し、7月にはベトナムで「C. C. レモン」を発売する等、引き続きサントリーブランド商品の販売拡大に取り組みました。

米州では、ノースカロライナ州を中心にペプシブランドの更なる販売強化に加え、営業や物流等、事業効率の改善を進めました。

各エリアにおける売上拡大の活動に加え、国内で培った研究開発技術やコスト改善のためのノウハウを海外へ展開し、品質の更なる向上及び収益力強化に取り組みました。

これらの結果、国際セグメントの売上高及びセグメント利益は、次のとおり、増収増益となりました。

国際セグメント売上高 3,935億円 (前年同期比33.3%増)  
 国際セグメント利益 482億円 (前年同期比30.0%増)

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品及び製品等の増加により、前連結会計年度末に比べ1,035億円増加して1兆3,602億円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金、有利子負債等の増加により、前連結会計年度末に比べ972億円増加して7,609億円となりました。

純資産は、配当金支出による利益剰余金の減少等があった一方で、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ64億円増加して5,993億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、営業外損益と特別損益の見直しを加味した結果、2014年2月14日に公表しました業績予想を下記の通り修正しています。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,260,000	百万円 85,000	百万円 78,000	百万円 35,000	円 銭 113.27
今回修正予想 (B)	1,260,000	85,000	81,000	35,000	113.27
増減額 (B-A)	—	—	3,000	—	—
増減率 (%)	—	—	3.8	—	—
(ご参考) 前期実績 2013年12月通期	1,121,361	72,715	67,257	31,196	118.79

(注) 1. <参考>EBITDA 2014年12月通期 (予想) 今回修正予想1,600億円 (前回発表予想から修正なし)

のれん償却前当期純利益 2014年12月通期 (予想) 今回修正予想595億円 (前回発表予想585億円)

2. 当社は、2013年4月16日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行っています。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	45,869	104,459
受取手形及び売掛金	126,116	166,178
商品及び製品	40,140	47,655
仕掛品	2,991	4,219
原材料及び貯蔵品	24,523	27,613
その他	44,000	52,012
貸倒引当金	△320	△386
流動資産合計	283,321	401,752
固定資産		
有形固定資産	312,820	318,034
無形固定資産		
のれん	400,050	372,537
商標権	184,942	189,846
その他	37,656	38,664
無形固定資産合計	622,649	601,049
投資その他の資産		
投資有価証券	17,820	18,579
その他	19,800	20,279
貸倒引当金	△842	△428
投資その他の資産合計	36,778	38,429
固定資産合計	972,249	957,513
繰延資産	1,131	939
資産合計	1,256,701	1,360,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	99,794	120,783
電子記録債務	14,696	14,556
短期借入金	156,772	56,405
コマーシャル・ペーパー	16,000	—
未払法人税等	11,227	10,365
賞与引当金	3,949	5,357
リース債務	1,432	1,070
その他	142,764	173,653
流動負債合計	446,636	382,192
固定負債		
社債	—	40,000
長期借入金	129,346	250,171
退職給付引当金	6,320	6,862
役員退職慰労引当金	23	8
リース債務	2,760	2,279
その他	78,645	79,370
固定負債合計	217,096	378,692
負債合計	663,733	760,885
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	192,701	192,701
利益剰余金	141,077	145,060
株主資本合計	502,163	506,146
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	1,173
繰延ヘッジ損益	264	184
為替換算調整勘定	54,809	54,344
その他の包括利益累計額合計	56,037	55,702
少数株主持分	34,767	37,470
純資産合計	592,968	599,319
負債純資産合計	1,256,701	1,360,205



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	837,157	940,686
売上原価	370,410	424,201
売上総利益	466,747	516,484
販売費及び一般管理費	414,536	451,666
営業利益	52,210	64,818
営業外収益		
受取利息	295	237
受取配当金	96	120
持分法による投資利益	365	539
その他	669	767
営業外収益合計	1,426	1,665
営業外費用		
支払利息	3,692	3,369
その他	1,451	734
営業外費用合計	5,144	4,104
経常利益	48,493	62,380
特別利益		
固定資産売却益	43	127
受取保険金	1,049	—
組織再編益	2,281	—
その他	11	32
特別利益合計	3,385	159
特別損失		
固定資産廃棄損	1,820	1,835
組織再編関連費用	1,831	3,508
その他	138	882
特別損失合計	3,790	6,226
税金等調整前四半期純利益	48,088	56,313
法人税等	20,372	22,515
少数株主損益調整前四半期純利益	27,716	33,797
少数株主利益	3,199	2,960
四半期純利益	24,516	30,837

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,716	33,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	391	209
繰延ヘッジ損益	6	△71
為替換算調整勘定	36,482	314
持分法適用会社に対する持分相当額	475	306
その他の包括利益合計	37,356	759
四半期包括利益	65,073	34,557
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,182	30,502
少数株主に係る四半期包括利益	4,890	4,054

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	542,004	295,152	837,157	—	837,157
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	736	736	△736	—
計	542,004	295,889	837,894	△736	837,157
セグメント利益 (注) 3	32,400	37,034	69,434	△17,223	52,210

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位:百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	32,400	37,034	69,434
減価償却費	22,116	9,457	31,573
EBITDA ※	54,516	46,491	101,007

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位:百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	120,856	28,708	90,761	54,827	295,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	736	—	—	—	736
計	121,592	28,708	90,761	54,827	295,889
セグメント利益	21,676	3,176	6,303	5,877	37,034
減価償却費	3,222	925	3,268	2,040	9,457
EBITDA	24,898	4,102	9,571	7,917	46,491

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内	国際 (注) 4			
売上高					
外部顧客への売上高	547,202	393,484	940,686	—	940,686
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	902	902	△902	—
計	547,202	394,387	941,589	△902	940,686
セグメント利益 (注) 3	35,407	48,150	83,558	△18,739	64,818

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない、のれん償却額です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 報告セグメントごとのEBITDAは次のとおりです。

(単位: 百万円)

	国内	国際	合計
セグメント利益	35,407	48,150	83,558
減価償却費	22,512	14,539	37,051
EBITDA ※	57,920	62,689	120,610

※ EBITDAは、セグメント利益に減価償却費を加えた数値です。

4. 国際セグメントを、現地法人グループの親会社の所在地別に分類した売上高、利益及びEBITDAの内訳は次のとおりです。

(単位: 百万円)

	欧州	オセアニア	アジア	米州	国際計
売上高					
外部顧客への売上高	199,753	30,913	107,516	55,300	393,484
セグメント間の内部売上高 又は振替高	902	—	—	—	902
計	200,656	30,913	107,516	55,300	394,387
セグメント利益	32,297	3,132	6,356	6,363	48,150
減価償却費	6,092	1,114	5,262	2,069	14,539
EBITDA	38,389	4,247	11,619	8,432	62,689

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。